

カナダMLCが運営する「マリアニスト信仰教育センター」のアップデート



2018年7月以来、ケベック州のケベック・シティ近郊にある「マリアニスト信仰教育センター」は、MLCのメンバーによって運営されています。今までここで生活されていた2人の最後のSMメンバーはご自分の共同体に移られました。センターのミッションはすべての協力者チームの皆さまの協力で継続しています。マリア会のメンバーも協力してくださっています。

今年はセンター設立後20周年の年です。それを記念して『福音伝道と信仰教育の道 (a path of evangelization and faith education)』を広い敷地に建設するプロジェクトが進められています。完成までに数年かかるでしょう。

老若男女を問わず皆さまが、この『道』をたどって信仰生活を深めるいろいろな道筋を発見し、主の創造の美しさとやさしさを見出すことができることを願い、さらに祈りのうちに神との個人的な出会があることを期待しています。

この計画をフランシス教皇様が要請された「ラウダート・シ」の期間中（2020年5月24日から2021年5月24日）に始められたことはうれしいことです。

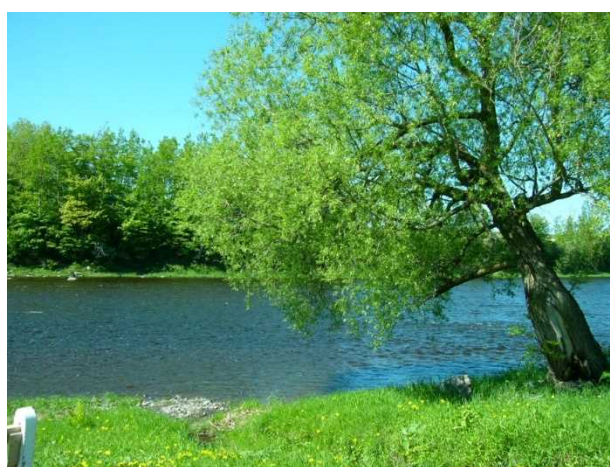
主の栄光！

ジョシー・ロベルジェ

フレンチ・カナダ代表

marcel.josee@globetrotter.net

「マリアニスト信仰教育センター」の写真：ケベック・シティ近郊



ニュース（フレンチ・カナダのMLCより）

歴史をさかのぼってみても、これほど重大な影響を与えた健康に対する危機はなかったと思います。地球全体が、もちろんMLCが自らの再生をしなければならず、団体も、会社も、学校も、そして教会でさえ再生しなければなりません。



幸いなことに、私たちはインターネットと電話を使って繋がっていることができます。ビデオ会議を使ってマリアニストの正式な集まりを行い、5月中は、メンバーではない人たちも招いてロザリオの祈りを捧げました。

私たちがいつも集会を行う「マリアニスト・センター」は、3月から6月まで閉鎖されていましたが、遠く離れていてもミッションを続けることはできました。一部のメンバーはオーバーワークでしたが、一部のメンバーは全く仕事ができませんでした。その結果、自宅から出なくても「出かけられる」いろいろな方法が生み出されました。

この文を書いている今でも、教会でご聖体を頂けません。このパンデミックからたくさんのことを学んでいます。精霊が私たちをお導きくださり、主が望んでおられる将来の教会はどのようなものか、お教えくださいますように。

ジョシー・ロベルジュ
フレンチ・カナダ代表